

天童四中だより

To the Next Stage

～仲間と踏み出す勇気とかづくりを～

5月号

5月31日発行



四中は平成4年生まれの32才です。4月に産声を上げたわけで、年齢は32才ですが、春を体験するのは33回目です。毎年、創立記念式を行っていましたが、今年度から区切りの良い35周年や40周年の時に式典を行い、今年のようなときは、講演会やコンサートなどを行い、お祝いしたいと思っています。



響く演奏!

トリオ・アラモーレ!

トリオ・アラモーレは、ソプラノ高橋まり子さん、チェロ増川大輔さん、ピアノ須藤恵美子さんの熟練した演奏を、身近に聴くことができるグループです。須藤さんは、四中学区にお住まいで、お子様方は四中の卒業生です。また、高橋さんと増川さんは、明るい緑色の四中ジャージをみて、声楽や楽器を教えた子どもたちを思い浮かべたとのことで、思い出して感激していました。本物に触れ、しっとりとした幸せな時間が四中に流れました。



収穫多し! 四中33回目の春!

5月に入り、創立記念行事(クラシックコンサート)、生徒会総会、そして3年生は修学旅行、2年生は四中ハローワーク、1年生は校外での地域探訪と、教室の机の上での学びではなく、様々な地域やいろいろな人たちに実際触れてみて、体験してみて、実感し学ぶという教育活動が行われました。

生徒会総会



5月10日に行われた生徒会総会。力強く渡部友希会長は第33期生徒会スローガンを提案しました。昨年度から幾度となく検討を重ねた、よりよい四中への思いがこもったものになっています。

また、各学級での議案書審議を経て、代表が立派に質問してくれました。

第33期生徒会スローガン

「ひらく」

自らの扉を開いて進んでいくように、どんなことにも積極的に行動し、常に前に進み続ける姿を目指したいという思い。

特に「自分の花を開く」「心を開く」「道を切り拓く」「知識を啓く」を意識した活動を推進していくもの。



第3学年修学旅行 (2泊3日東京方面)

5月21日(火)～23日(木)は、3年生の修学旅行でした。一日目は上野・浅草周辺の班別研修と、野球観戦や屋台船などのコース別研修。二日目は、都内班別研修とディズニーランドでのおもてなし研修。最終日は、クラス別研修で横浜中華街へ足を伸ばした学級もありました。



修学旅行しおり表紙絵
3組実行委員居鶴美奈子さん作



「修学旅行を振り返って」

実行委員長 3年2組 松田大樹

私は、感動と学びのある修学旅行になったと思いました。慣れない人混みや、駅やホテルでの焦り、研修先での体験など、初めて経験することが沢山あり、これらの経験全てがあったお陰で、私たちは学び成長することができたと思います。

そんな中でも、仲間と助け合い、共に学んだ、この修学旅行はこれまでで一番感動した旅になったと実感しています。



第2学年 四中ハローワーク

5月21日(火)に2年生の進路学習「四中ハローワーク」が行われました。県内の専門学校の実業を活用したもので、各専門学校の講師の皆さんによる体験活動等を行ったものです。リハビリ、看護、理・美容、調理、デザイン、裁縫等の内容でした。



「住宅模型制作を通して」

2年5組 渡邊 杏美
仕事というのはお客さんのできないことを補うものだと聞いた。だから、生きていくためであり、相手を生かしていくためでもあると思った。私は相手を思って働くことを大切にしたい。

また、仕事はお金を稼ぐためにするものと考えていたけれど、やりがいとか相手のためとか、様々な理由を持って働くものだと考えが変わった。

※振り返りレポートからの抜粋



第1学年 地域探訪

5月22日(水)に1年生の校外学習である「地域探訪」が行われました。グループ毎に分かれ、天童市内を散策しました。



「校外学習を終えて」

1年2組 押野 沙悠
私は地域探訪で仲間と協力することの大切さを学びました。班員一人一人が自分の仕事に責任を持ち、積極的に行動し、地域の魅力をたくさん発見することができました。地域探訪を通して高まった協力性を今後も大切にしていきたいです。

